

株主通信

第92期（2023年3月期）

2022年4月1日～2023年3月31日



当社グループは、次の経営理念及び行動基本方針に基づき、事業運営に取り組んでまいります。

経営理念

**東邦チタニウムグループは
チタンと関連技術の限りない可能性を追求し
優れた製品とサービスを提供し続けることで
持続可能な社会の発展に貢献します**

行動基本方針

私たちは、経営理念を実現するため次の3つの基本方針に基づき行動します。

1. 安全とコンプライアンスを最優先し、健全で公正な企業活動を行います。
2. 変革と創造を実践し、従業員と企業の持続的成長を果たします。
3. 顧客、地域社会、株主をはじめとする全てのステークホルダーと対話を進め、信頼・共生関係を築きます。

コーポレートブランドマーク



当社のコーポレートブランドマークは、TOHO TITANIUM COMPANYの頭文字「TTC」がベースとなっていますが、「TTC」は、社名（Toho）と当社のオリジナル事業である「金属チタン事業（Titanium business）」及びその技術を活用して成長してきた「触媒及び化学品事業（Catalysts and Chemicals business）」の頭文字でもあります。

<本コーポレートブランドマークのデザインイメージ>

後ろの「T」は、チタンの主要用途である航空機の先端部分をイメージしたもので、色はチタニウムシルバー。

前のマークは、「T」と「C」を融合させたもので、色はノーチカルブルーを採用。この色は、当社発祥の地である茅ヶ崎の象徴であり、生命の源である海とともに、限りない宇宙をイメージさせるものです。

「C」は、絶えることなく寄せては返す波を表しており、色と併せて、限りない可能性を追求する当社の姿勢を表現しています。

さらに、「T」と「C」が融合したデザインは、共に結び合い、発展してきたチタン事業（T）と触媒及び化学品事業（C）の関係そのものを表しています。

当社は、本コーポレートブランドマークを、「チタンと関連技術の限りない可能性を追求し」、「優れた製品とサービスを提供」する当社のシンボルと位置付け、“TOHO ブランド”の確立に努めます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第92期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）におきましては、金属チタン事業は航空機向けを中心とする需要回復やロシア製展伸材からの代替需要、為替の円安等により前期に比べ大幅な増収となりましたが、触媒事業及び化学品事業は中国など海外の景気減速の影響を受け販売が低調に推移しました。一方、特に金属チタン事業において、輸入原材料、副資材、エネルギー価格等の高騰や円安によりコストが大きく上昇し、これらを反映した適正な製品販売価格の実現に努めてまいりました。

こうした状況の下、当期の売上高は過去最高の803億51百万円（前期比44.7%増）となりました。また、営業利益は、コストが比較的安かった前期に製造した金属チタン在庫の取崩し等の一過性の利益押し上げ要因もあり前期比104.5%増の106億93百万円となり、経常利益は前期比103.4%増の105億32百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比103.0%増の75億4百万円となりました。

期末配当につきましては1株当たり19円、中間配当11円と合わせた年間配当金は前期に比べ15円増の1株当たり30円とさせていただきます。

当社は本年、創立70周年を迎えることとなり、これを機に「2030年ありたい姿」を「先進素材と技術を創出し環境変化への柔軟性を持つ高収益企業となり、高度循環型社会の発展に貢献する」と決めました。

足元の事業環境は、金属チタン事業における大幅なコスト上昇や触媒事業及び化学品事業における需要減速など厳しい状況もありますが、中長期的にはこれらの各事業において需要の拡大が期待され、当社にとって大きな成長の機会があるものと考えています。こうした中、当社といたしましては、「2030年ありたい姿」に向けて先般策定した2023-2025年度中期経営計画に基づき、金属チタン事業における増産と適正販売価格の実現、触媒及び化学品事業の能力増強に向けた取組み、PEM（固体高分子膜）水電解水素製造装置の陽極側拡散層としての活用が期待されているチタン多孔質体（WEBTi[®]）の早期事業化など、事業の成長と競

争力強化に向けた施策を着実に実行することで、企業価値の向上を図ってまいります。

また、2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、引き続きチタン新製錬技術の開発に取り組むほかCO₂削減に向けた諸施策を推進するなど、事業の持続可能性の観点から、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関わる重要課題について中長期的計画に基づく取組みを進めてまいります。

皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年5月



東邦チタニウム株式会社
代表取締役社長 山尾康二

財務ハイライト

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2022年度実績	80,351	10,693	10,532	7,504
2021年度実績	55,515	5,228	5,177	3,695

売上高 (連結)

(単位：百万円)



経常利益 (連結)

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)

(単位：百万円)



純資産、総資産、自己資本比率 (連結)

(単位：百万円、%)



2030年ありたい姿の再構築・2023-25中期経営計画

2030年ありたい姿

先進素材と技術を創出し
環境変化への柔軟性を持つ
高収益企業となり
高度循環型社会の発展に貢献する

【キャッチフレーズ】

期待を超える！“BE2030”

当社は2020年11月に「2030年ありたい姿」と「中長期基本方針」を公表いたしました。2023年に創立70周年を迎えるにあたり、さらに長期的な視点で企業経営と社会への貢献に取り組むことにより「100年企業」を意識したいと考えております。そこで、「2030年ありたい姿」をアップデートしました。2023-2025年度中期経営計画は、2030年の目標へのキャッチアップ戦略を前提に策定した3年間のアクションプランとなります。



※ Beyond Expectations 2030

2030年 事業別ありたい姿

売上高100億円規模



WEBTi®



ニッケル粉国内販売シェアTOP
売上高経常利益率15%以上

新規事業

金属チタン事業

売上高2倍
(対22年度)

売上高経常利益率
15%以上

化学品事業

触媒事業

航空機向けスポンジチタン
世界販売シェアTOP
売上高経常利益率10%以上



PP触媒世界販売シェアTOP3
売上高経常利益率20%以上

2023-2025中計 主要施策（事業部門）

金属チタン事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆コスト変動に連動した価格フォーミュラー化 ◆若松/茅ヶ崎工場のスポンジチタン生産能力増強（3kt/年） ◆サウジスポンジ工場（ATTM社）フル操業 ◆チタンインゴット生産効率向上
触媒事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産技術改善等による生産能力増強（現状生産能力に対して約6%アップ） ◆新工場建設による能力増強計画策定
化学品事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆第5工場稼働（25年度予定）による生産能力増強（現状生産能力に対して約20%アップ）
新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆WEbTi®の事業化及び事業拡大に応じた生産能力増強 ◆新規事業テーマの企画・開発

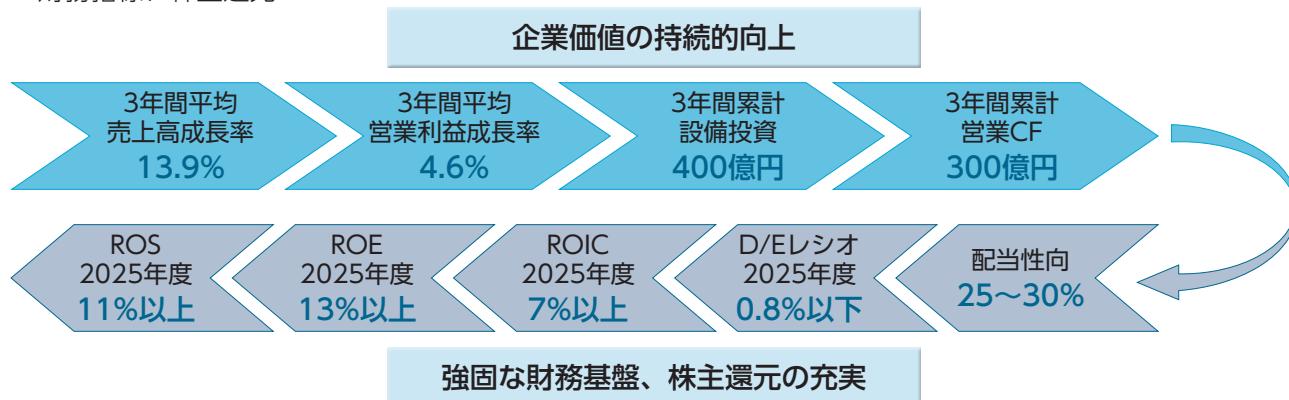
売上高、営業利益

（億円）

	2025年度	(参考) 2022年度
売上高	1,200	804
金属チタン事業	720	544
触媒事業	150	88
化学品事業	300	172
新規事業	30	—

	2025年度	(参考) 2022年度
営業利益	130	107
金属チタン事業	60	65
触媒事業	40	29
化学品事業	35	26
新規事業	10	—
共通等	▲15	▲13

財務指標、株主還元



新工場建設によるニッケル粉の生産能力の増強について：若松工場

超微粉ニッケルの更なる生産能力増強のため、若松工場（福岡県北九州市若松区）内に新工場（第5工場）を建設することを本年2月に決定いたしました。

超微粉ニッケルは、積層セラミックコンデンサ（MLCC: Multilayer Ceramic Capacitor）の内部電極材料として使用されるものであり、足元のMLCC需要は調整局面にありますが、通信機器の高機能化、自動車のEV化や自動運転化、第6世代移動通信システム（6G）の実用化等により、市場は今後大きく成長していくものと想定されます。

今後は、新工場の早期・円滑な建設を図り、超微粉ニッケルの安定供給体制確立に努めてまいります。

【概要】

所在地	北九州市若松区響町 1-62-1
設備投資額	約94億円
生産能力	既存生産能力に対して約20%増 ※なお、本工場は今後更に生産設備を追加できる建屋、インフラ設備を含んでおり、追加した場合は、既存生産能力に対して約40%増となります。
スケジュール	2025年度完工、営業運転開始



若松工場全景

ホームページ・会社紹介動画



当社ホームページでは、IR情報をはじめとする、様々な情報をタイムリーにご案内しております。

是非一度ご覧ください！

<https://www.toho-titanium.co.jp/>

会社紹介動画：
右記QRコードより
ご覧いただけます。



日本語版



英語版

会社概要 (2023年3月31日現在)

- 社名 東邦チタニウム株式会社
- 本社所在地 神奈川県横浜市西区南幸一丁目1番1号
JR横浜タワー22階
- 生産拠点 茅ヶ崎工場、若松工場、八幡工場、
日立工場、黒部工場、
岐阜工場 (東邦マテリアル株式会社)
- 資本金 119億63百万円
- 従業員数 (連結) 1,127名
- 主要な子会社 トーホーテック株式会社
東邦マテリアル株式会社
Toho Titanium America Co., Ltd.
Toho Titanium Europe Co., Ltd.

株主メモ

- 事業年度 4月1日から3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告
- 上場証券取引所 東証プライム
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031

IRカレンダー (2023年7月~12月) (予定)

7月	8月	9月	10月	11月	12月
7月下旬 ◎2024年3月期 第1四半期 決算発表			10月下旬 ◎2024年3月期 第2四半期 決算発表		